

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		じやんぶ春光				公表日	令和7年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			それぞれの特性に応じて活動場所を分けています		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。				バリアフリー化には至っていませんが、生活空間は子どもにとって分かりやすくなっています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。			毎日清掃消毒し環境を整えています		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			お子さんの状況により必要に応じて個別の部屋や場所を使用しています		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			PDCAサイクルを心掛け、毎日1日の流れを確認しています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			年に1回評価アンケートを行い、職員間で結果を共有し業務改善に繋げてあります		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			会議を行い意見を收集し改善に繋げています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				現在外部評価は行っておりません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			研修を定期的に実施しています		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。					
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。			子ども、保護者にアセスメントを行い、計画を作成しています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			子どもの支援に関わる会議やミーティングを行い検討しています		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			職員間で共有し支援しています		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			個別支援計画に掲載しています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			プログラム会議を開いて検討しています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			固定化しないように工夫しています		

供 應 機 関	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			活動計画を作成し、事前に打ち合わせを行い内容を確認し、役割分担を行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			毎日ではないが、振り返りを行い気になる事はすぐ報告しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			子どもたちとじっくり関わり、より具体的な記録がとれるよう努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			3か月ごとにモニタリングを行い、達成状況を確認したうえで、終了、評価までの支援を行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。				
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。			管理者や児童発達支援管理責任者が担当者として参画しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			保護者からの依頼を受けたり、必要に応じて関係機関と連携をとっています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。			保護者を通して情報を共有し、担当している相談支援員を中心に情報共有を図るよう努めています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			情報共有し相互理解に努めています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。			児童センターや公園などで交流の機会があります	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				日程が支援時間帯と重なることが多く、あまり参加できていません
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			連絡ノートやLINE、送迎時等で、日ごろの様子をお伝えしています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
機 構 や 保 育 施 設	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			契約時に説明を行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			面談時や保護者から相談があれば随時対応しています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。				交流の機会を設けることができていないため、今後に向けて検討しています
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			苦情マニュアルに沿って対応しています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			毎月1回発行しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			十分配慮しております	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			その日に取り組む活動を視覚的に掲示し分かりやすくしています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				行事の開催はありませんが、今後検討したいと考えております
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。				マニュアルを作成し職員には周知しておりますが、保護者に対してても、より分かりやすい方法での情報提供に努めてまいります
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			定期的に訓練を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			確認しています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			研修、訓練を定期的に行っています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			報告書を作成し、改善点を明確にし、適切な対応策を検討・実施しています。また、改善後の報告を行い継続的な安全対策を図っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			外部研修、事業所内研修を行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			保護者に説明と承認を得て他児への危険性や本児の怪我等の危険性を予知した場合に行い、行った場合は記録しています	